

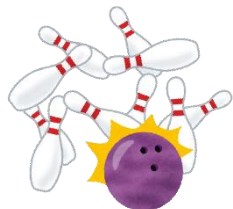


三浦半島労福協ニュース

NO. 89

〒238-0006 横須賀市日の出町1-5 ヴェルクよこすか3F 三浦半島地域労働者福祉協議会
発行人：外川翔大 編集人：許斐正典、椿 亮

2026年8月29日発行



レーンを超えてつながる輪！ 構成組織・団体役員ボウリング大会



7月29日(水)18時30分からコースカベイサイドストアーズ6階スポーツ横須賀にて、「構成組織・団体役員交流ボウリング大会」を開催しました。

本大会は、日頃より運動を支える各構成組織および関連団体の役員が一堂に会し、親睦と連帯を深めることを目的に企画されたものです。当日は組織・団体から総勢48名が参加し、会場は終始熱気と歓声に包まれました。

大会は、主催者を代表して労福協・外川会長が熱気あふれる始球式からスタートしました。

競技は1チーム3～4名による団体戦および個人戦(2ゲーム平均スコア)で実施されました。レーンごとに異なる組織の役員が混成で配属され、最初は少し緊張した面持ちも見られたものの、ゲームが進むにつれて自然と会話が弾みました。

全ゲーム終了後は、懇談会が執り行われ、上位入賞チームはもちろんのこと、「飛び賞」や「ブービー賞」が発表されるたびに大きな笑いと拍手が巻き起こりました。(個人の部成績：優勝 横須賀市職員労働組合 二色 良介 357ピン 準優勝 中央労働金庫横須賀支店 齋藤 光一 342ピン 3位 芝浦メカトロニクス労働組合 長下部 泰広 308ピン)

歓談の場では、ボウリングの振り返りととどまらず、各組織における日頃の取り組みや課題についての情報交換が活発に行われ、組織の垣根を越えた連携の重要性を改めて再確認する貴重な時間となりました。

今後もこうした交流事業を通じて連帯感を高め、組織の一体感をより一層強めていきます。



始球式をする労福協・外川会長

優勝

日本郵政グループ労働組合 三浦支部 杉山 純一

横須賀水道労組 小澤 孝晴

中央労働金庫大船支店 鈴木 裕也

準優勝

三浦半島地区教職員組合 望月 綾加

住重労連 横須賀地方本部 宮本 竜一

中央労働金庫横須賀支店 齋藤 光一

芝浦メカトロニクス労働組合 小泉 総一郎

第3位

住重労連 横須賀地方本部 澤田 悠佑

中央労働金庫横須賀支店 荒井 俊輔

日産自動車労働組合追浜支部 高木 孝二

横須賀市職員労働組合 二色 良介



コラボ企画、ニュークリア・フュエル・ユニオンによる 夏休み企画『ふれあいキャンプ』開催の報告！

三浦半島労福協加盟組織のニュークリア・フュエル・ユニオンは、(株)グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン(以下、GNF-J)のボランティア基金を活用し、社会貢献活動の一環として、「ふれあいキャンプ」を開催しています。

この活動に対して、三浦半島労福協はコラボ事業として協賛しています。

今回は、7月24日(金)～25日(土)にかけて、児童養護施設「幸保愛児園」、「鎌倉児童ホーム」の子ども達を招待し、東京スカイツリーや東京ドイツ村などを見学、千葉市少年自然の家にてキャンプファイヤーなどを行いました。

★1日目

朝、貸切大型バスにて鎌倉から出発し、東京スカイツリーへ向かいました。展望台から東京の街並みを見学し、普段とは違った高い場所からの景色を楽しみました。子どもたちは眼下に広がる景色に興味を示し、思い出に残る体験となりました。その後、大型バスで千葉市少年自然の家へ移動しました。到着後は野外炊飯を行い、班ごとに役割を分担しながら、火起こしや調理、片付けまで協力して取り組みました。自分たちで食事を作る体験を通じて、仲間と協力することの大切さを学ぶ機会となりました。

夜はキャンプファイヤーを実施し、レクリエーションなどを通して参加者全員で楽しい時間を過ごしました。

「1日目写真」



★2日目

朝食後、使用した寝具の片付けや部屋の清掃を行いました。自分たちが使用した場所を自分たちで整理・清掃することで、施設を大切に利用することや、集団生活での役割について学ぶ機会となりました。退所後は大型バスで東京ドイツ村へ移動しました。園内では遊具で遊んだほか、世界の昆虫爬虫類の見学や水遊びなど、さまざまな活動を体験しました。子どもたちは班ごとに行動しながら、それぞれ興味のある体験を楽しみ、充実した時間を過ごしました。

その後、大型バスで金谷港へ移動し、フェリーに乗船しました。東京湾の景色を楽しみながら久里浜港へ渡り、再び大型バスで帰路につきました。



★まとめ

1泊2日のキャンプを通じて、子どもたちは普段なかなか経験することのできないさまざまな活動を体験することができました。野外炊飯や宿泊生活、班行動などでは、子どもたち同士で声を掛け合い、協力する姿が多く見られました。

また、引率者同士で連携しながら安全確認を行い、大きな事故なく全行程を終えることができました。今回のキャンプが、子どもたちにとって楽しい思い出となるとともに、自主性や協調性を育む貴重な経験になったと考えます。